

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況(病原性確定、オホーツク総合振興局 網走市 等 道内6、7、8例目)について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 11月16日に網走市内で回収された死亡野鳥(オオセグロカモメ)1羽について、環境省から、本日、国立環境研究所で実施した遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、連絡がありました。(今シーズン道内6例目)</p> <p>○ 11月16日に斜里町内で回収された衰弱野鳥(ハシブトガラス)1羽について、環境省から、本日、国立環境研究所で実施した遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、連絡がありました。(今シーズン道内7例目)</p> <p>○ 11月18日に帯広市内で回収された死亡野鳥(マガモ)1羽について、環境省から、本日、国立環境研究所で実施した遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、連絡がありました。(今シーズン道内8例目)</p> <p>(今後の道の対応)</p> <p>(1) 関係振興局は、野鳥監視重点区域において、野鳥の大量死等の有無について監視を強化します。</p> <p>(2) 各回収地点から半径3kmの区域内には立入検査を必要とする家きん飼養農場はないことを確認済みです。また、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p> <p>(3) 北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p> <p>※別添資料 R4シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況</p>		
参考	○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。		
報道(取材)に当たってのお願い	○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	オホーツク総合振興局、十勝総合振興局	
担当(連絡先)	<p>・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係(担当者:鈴木) TEL:011-231-4111(内線24-381)ダイヤルイン:011-204-5223</p> <p>・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:中田) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441</p>		

令和4（2022）年シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況  
（令和4年10月～）

本件	○例目	回収日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
		採取日	振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	野鳥1例目	10/8	根室	別海町	糞便	ガンカモ類				高病原性
	野鳥2例目	10/23	オホーツク	紋別市	糞便	ガンカモ類				高病原性
	野鳥3例目	10/28	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1			高病原性
	野鳥4例目	11/6	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥5例目	11/10	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
●	野鳥6例目	11/16	オホーツク	網走市	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
●	野鳥7例目	11/16	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
●	野鳥8例目	11/18	十勝	帯広市	死亡野鳥	マガモ	1	陽性	陽性	高病原性
	疑い	11/19	根室	中標津町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	検査中	
	疑い	11/20	釧路	釧路市	衰弱野鳥	タンチョウ	1		陽性	検査中
	疑い	11/21	渡島	八雲町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	検査中	
	疑い	11/23	十勝	浦幌町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	検査中	
	疑い	11/24	胆振	むかわ町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	検査中	